

2008年2月20日  
株式会社日立製作所

## 日立が欧州における総合展示会を開催

社会インフラ事業を拡大させ、欧州で2010年度末までに1兆円超の売上高をめざす

日立グループは、このたび、欧州市場の社会インフラ分野における日立ブランドの浸透を推進すべく、2月20日と21日の2日間、英国ロンドン市において、日立の総合展示会「Hitachi Inspire Life」を開催します。本展示会では、電力、鉄道、自動車、ストレージ、建設機械、空調機器をはじめ、日立グループが強みとする、将来の生活を支える技術や製品を通じて、欧州のお客様、政府関係者、パートナーなどに対し、日立グループが有する技術の先進性や総合力を紹介し、事業機会の拡大を図ります。

今後、日立グループは、「電力システム」「鉄道システム」「ストレージシステム」「建設機械」などを中心とした欧州市場における社会インフラ事業を強化し、欧州市場において、2010年度末までに、1兆円超の売上高達成をめざします。

日立は、現在、2009年度に連結営業利益率5%、D/Eレシオ0.8倍以下の維持という目標を設定し、「協創と収益の経営」を推進するための経営方針に沿った事業戦略を展開しています。この中で、海外売上高を2009年度までに45%とする目標を掲げており、欧州での事業拡大はますます重要になっています。このような状況から、日立は、欧州における事業強化のため、今般、欧州における事業戦略「Innovation for a Sustainable and Secure Society」を策定しました。この事業戦略のもと、日立グループは、欧州で注力していく、「電力システム」「鉄道システム」「ストレージシステム」「建設機械」の4つの注力分野へ投資を集中し、東欧、ロシア、中近東など今後成長が期待される地域への進出の加速、市場主導型の研究開発体制の強化などを通じ、さらなる事業強化を図っていきます。また、環境負荷を低減する製品や技術の開発にも注力し、欧州の厳格な環境保全規制にも対応していきます。

これにより、日立は、2010年度末までに、欧州市場において、1兆円超の売上高達成をめざします。

日立は、近年、欧州において、「電力システム」や「鉄道システム」の分野で継続して大型受注をしています。「電力システム」の分野では、2007年5月に、ベルギーの最大手電力会社エレクトラベル社から、欧州3ヶ所で建設する石炭火力発電設備を約3,000億円で一括受注しました。また、「鉄道システム」の分野では、英国CTRL(Channel Tunnel Rail Link Domestic)における高速鉄道車両を、7年間のメンテナンス費用込みで、約700億円で受注しています。また、高い競争力を有する「ストレージシステム」や「建設機械」の分野でも売上は拡大しています。日立グループは、今後も、注力する4つの事業を中心に欧州でのブランド価値を向上させ、欧州社会の発展に貢献していきます。

なお、本展示会は、2008年5月にフランスパリ市においても開催する予定です

以上

---

このニュースリリースにおける将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---